

団体名：盲導犬ボランティア・エールの会

活動名：盲導犬への理解を深めるための啓発・普及活動

会長 / 岡村 浩子 あかむら ひろこ 所在地 / 下関市観音崎町 4-12

活動紹介

活動の目的

会員相互の交際と理解を深め協力して盲導犬ボランティアの振興を図ります。

会の名称の由来：盲導犬ブラームスとともに生きる視覚障害者の北崎さんの、妻、母親、そして女性としての明るい自然な生き方に、私たち健常者の主婦は、生きる感動のエールをもらったことからこの名がつけました。盲導犬ボランティアの活動は、この感動のエールが源です。

メッセージ

平成15年の6月に盲導犬ブラームスと北崎さんに出会い、同年8月24日に盲導犬の講演をしたところ、200名以上の来場者がありました。

うち160名からアンケートをいただき、おぼちゃんの会としては、反響の大きさに驚きました。

会は、盲導犬というよりも北崎美枝子さんという人に出会ってエールを貰ったのです。妻であり、母親であり、一人の女性として、日常生活を私ども主婦以上に自然体でこなされています。

チャレンジ精神旺盛で明るく前向きに生きている北崎さんの姿に驚きと感動を覚えました。この女性の生きざまを一人でも多くの人に聞いてほしい。

そんな思いからエールの会を立ち上げました。

下関市内には盲導犬が一頭もいません。

もし盲導犬に出会ったら、どのように対応してよいのか、私たちにはわかりません。一人でも多くの人に盲導犬のことを理解してほしい。

盲導犬と共に暮らせる社会を、と願っています。

本年5月から、教育委員会のご協力を得て各小学校に北崎さんを招き盲導犬講演会を展開しています。

下関での講演はすでに9回を数えました。

募金箱の設置及び募金活動、福岡県前原市盲導犬訓練センター視察、盲導犬ユーザーとの交流なども行っています。

啓発運動を通じて色々な方々と出会いました。

下関ライオンズクラブ北では下関に盲導犬一頭を目標にプロジェクトが組まれました。各方面の皆さんにご協力を戴きながら、私たちおぼちゃんの会ではありますが、身の丈で活動できればな、と考えています。

これからも宜しくお願いします。

